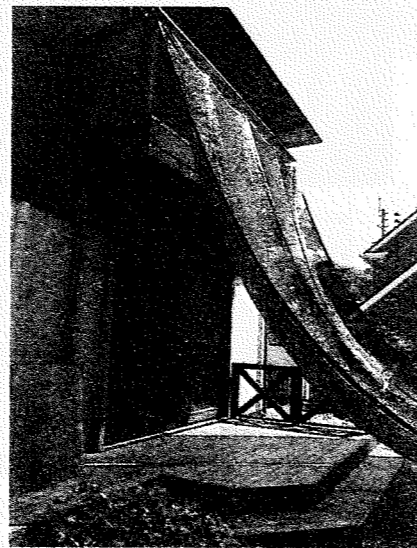


## 遮光ネット顛末記

今年の夏も予報通り暑かったですね！我が家も5月位から、遮熱対策を情報収集し、知恵をしぼりました。東、南、西と三方からサンサンと日が入る我が家を昨年から救っているのが、農業用遮光ネットです。安価な割には、遮光はもちろん、耐久性、通気性にも優れています。

一番日差しが入る南側の掃き出し窓は、2階のベランダから敷地を囲むフェンスまでを6Mのネット2枚で覆いました。窓の外にはウッドデッキがありますが、今まで照り返しに悩んでいたのが、このネットのお陰で随分涼くなりました。

外出から帰ると、室内が薄暗く、ひんやりと感じる程です。ただ、くもりの日などは逆に室内灯をつける必要があります。点灯は、かえって省エネでないのでは？という意見も聞きます。カーテンのように開け閉めが出来るような設置が可能であれば、調節ができると思います。私は室内の温度の変化が少ない方が、省エネになると考え、夏場の日差しの強い時期だけ設置をし、やむを得ない場合以外は薄暗く涼しい生活を楽しんでいます。

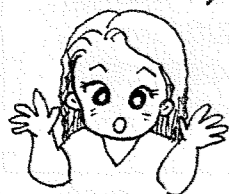


▲遮光ネットを垂らした窓

効果は十分で、他の場所にもと考えましたが、設置に困る窓もありました。ひさしや軒がなく、窓枠にも凹凸がない窓は、フックを付ける場所が見つからず、結局設置できていません。特に西側は就寝時間になっても、暑さが緩和されず、遮光フィルムを貼るなどの処置を考えています。ただ、フィルムは付けたりはずしたりが面倒です。家を建てる時に、フックを付けておけば良かったなあと思いました。

遮光ネットはとても軽いので、負担が少ない分、風で裾がなびいてしまいます。私はペットボトルに水を入れたおもりを紐で固定しています。ネットの編み目は何かに引っかけてしまうと、切れてしまうこともあるので、固定をした方がいいと思います。また、ネット自体が熱を帯びるので、窓ガラスからある程度距離を取った方がいいようです。

みなさんの  
省エネ情報も  
おしえて下さい



10年ほど簾を愛用していましたが、それに比べ外れにくく、保管も楽です。また簾より涼しく感じます。夏場は黒色がおすすです。昼間、室内から景色が見えますが、外からは室内が見えません。窓を開けたまま、風通し良くすごせますよ。まだ使っていない方は是非チャレンジしてみてください。

《Yっち》

## 夏休み親子リサイクル探検隊 終了しました

福岡県の委託事業「3R推進事業」のひとつ、夏休み親子リサイクル探検隊が終了しました。親子で楽しく「3R」を学ぶバスツアーで、ショッピングモールやごみ処理施設、牛乳製造メーカー、大学と多彩な見学先を2コース企画しました。

### A.筑前コース (イオンモール福津/エコロの森) .....7/24 ㊦

イオンモール福津の一般ごみは、エコロの森に搬入されます。ごみの流れがわかります。

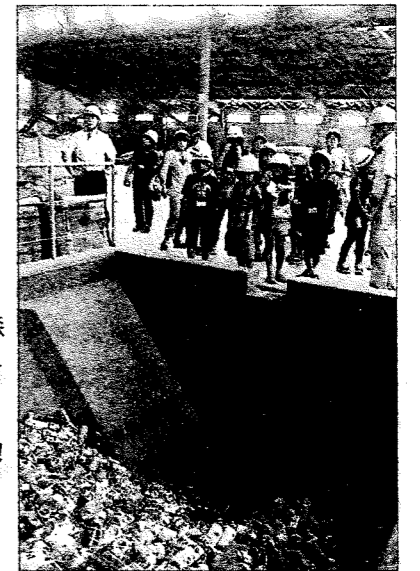


◀イオンモール  
福津の舞台裏  
12品目の分別  
をされています。



エコロの森  
バックヤード▶

ど迫力!!



エコロの森 エコロビンゴ▲ 環境講座の後は、廃材工作や、虫ゴム交換、古布ティッシュ作りなど身近で楽しい3Rを体験しました。

### B.伊都コース (糸島みるくぷらんと/九州大学/3Rステーション) .....8/8 ㊦

昔からある3R(びん)と新しい3R(携帯電話)、また、企業・大学・NPOの取り組みを学びました。



◀糸島みるくぷらんと  
びん牛乳のはなし



▲九州大学 工学研究院地球資源システム工学部門

エコけん会員:渡辺教授

携帯電話の有用金属リサイクルボランティア学生さんの指導で顕微鏡観察がありました。



◀西部リサイクルステーション見学・体験

楽しい廃材工作もありました。

《ひら》

## 連携教室 学習プラン作りワークショップ 開催しました

8月22日(水)、今年で9年目になる夏の恒例ワークショップを実施しました。これは、連携教室の学習プランを、実践校の先生方と、情報と時間を終日共有しながら、今後の学習計画をつくりあげることが目的です。ただ、参加者は、先生方はもちろんのこと、行政職員さん、環境保全活動をされている市民・団体の方、学生さんなど、毎年様々です。異なる立場の方々が場を共有し交流する機会になれば、私たちにとってありがたいことです。今年、ぐりんぐりん古賀の皆さんに、9月から予定されている「ぐりんぐりん環境体験講座」の展開を考えていただいたのが、いつもと少し違う点でした。



▲たくさんの方にご参加いただきました

午前中、アイスブレイクで肩慣らし後、環境教育の変遷や目的・方法などを座学で共有したあとは、「環境と私の接点」をピックアップしました。アイスブレイクの他己紹介では、立場にとらわれない対等な雰囲気生まれ、1992年リオサミットの伝説のスピーチに身が引き締められました。



▲学校グループ:体験グッズを確認しました

午後からは、学校グループと市民団体グループに別れ、それぞれ実践プランを具体的に書面に落としていきました。学校グループでは、教具の体験後、授業の一連の流れを担当者とつくり、市民団体グループでは、講座の展開と共に、リスクをどう軽減するかについても考えられました。

今回のワークショップを終え、こうした方が良かったなと反省するところも、もちろん各所にありますが、参加者の満足感と予定の成果物が得られ、ほっと胸をなで下ろしました。この活動も来年度10年を迎えます。これからもコツコツと大切に続けていきたい事業に育ったと感じられ、うれしく思いました。

《S》

## 未来を創るインタビュー

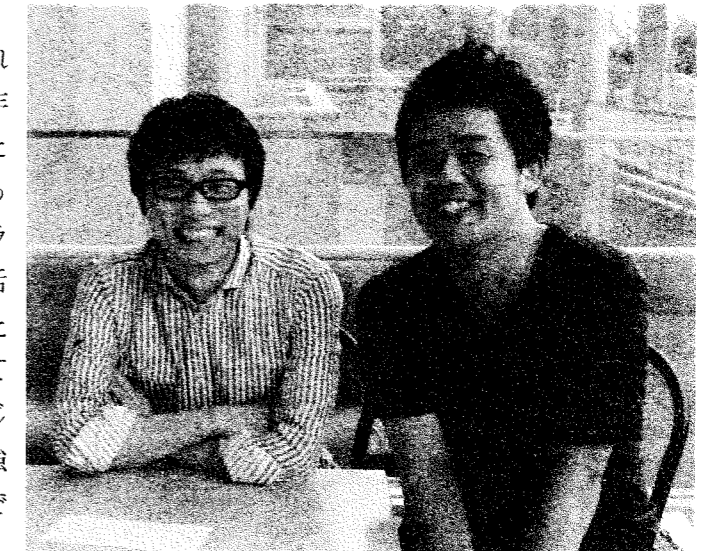
No.15

特定非営利活動法人 九州コミュニティ研究所

中村 善輝 氏 池田 祐介 氏

特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所(以下、九コミさん)は、「デザインの最適化」をミッションに活動されています。メディア制作を中心にチームマネジメントや空間・アートまで、より高い効果を目指して、複合的にデザインに取り組んでいらっしゃいます。デザイナー、ライター、カメラマン、建築家、プランナーなどさまざまな専門家が集まり、それぞれの得意分野を活かされているそうです。

もともとデザインオフィスにも所属されている中村さんは、昔、顧客の要望と制作するものとのずれに、悩みをかかえることがあったそうです。九コミ立ち上げのきっかけとなった、「九州道の駅ユーザーズクラブ」に関わって「これはまさにNPOの活動だ」と実感し、楽になったとか。売るためだけに気を引くよう過剰に広告しないでいいし、ごまかさなくていい、取材で感じたことを素直に出せることが、NPOの強みであり、面白いところだと感じたそうです。



池田さん(左)と中村さん テレテレでした

若い池田さんは、常勤として九コミで働かれています。大学では、建設社会工学を専攻されたそうですが、その時にNPOが行う「社会課題を解決するためのデザイン」に触れ、デザインの世界に興味を持ったとか。「デザインは奥が深いです。」と池田さん。一般的な制作の意味だけでなく、コミュニティデザインや調査をもとにしたプランニングなど、伝えたい人にわかりやすく伝えるためのトータルデザインが、九コミさんが考えるミッション「デザインの最適化」だと話されました。

### 未来を創るメッセージ

## デザインは、いつも生活のそばに。

最近の活動では、福岡市南区との共働事業「活気ある公園づくりプロジェクト」で街区公園の活気づくりを目指し、毎朝とある公園のゴミ拾いとその解析をしているそうです(WebサイトやFacebookでその活動を見ることができます)。「ゴミをいっここ公園の地図にマッピングすると、法則のようなものが見えてきます。」と楽しそうでした。地域のみなさんに愛される公園になるといいですね。

若者の新しい働き方を感じることができたインタビューでした。

《ひら》

次回のエコけん1%クラブ



9月14日(金) 15:30~1時間程度 エコノの森近隣 ごみ拾い



思いを形に

特定非営利活動法人 **エコけん**

〒811-3114 福岡県古賀市舞の里5-24-13

【TEL/FAX】092-944-6450

【E-mail】eco\_ecoken@ybb.ne.jp

【URL】http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken